

【分権サロンの記録】

…奈良の地方自治を実りあるものに、そしてこれからの地方分権を豊かに展開しようと願う小さな勉強会があった…

初会合

2001年1月18日、ならまちの割烹「恵方」にて、朝日新聞大阪本社・編集委員の中村征之（奈良市民）の呼び掛けにより、NPO 政策研究所理事長の木原勝彬、奈良女子大学教授の澤井勝、奈良新聞記者の浅野詠子の4人が集まり、定期的な勉強会を開催することで合意した。

会号でスピーチした人々

2001年

- 2月 中村一雄（洋画家）「県庁による志賀直哉旧居取り壊し中止の運動」
- 3月 中村征之「田中・長野県政を通して見る地方自治の原風景」
- 4月 澤井 勝「地方交付税の真相に迫る」
- 5月 木原勝彬「サステイナブル・コミュニティの推進に向けて」
- 7月 浅野詠子「財政の主権者になりたい」
- 8月 澤井 勝「介護保険この一年」
- 10月 笹原司朗（黒壁社長）「身銭を切る商人の町・長浜」
- 10月 北川憲司（滋賀県職員）「介護保険最前線」
- 11月 堀内英樹（上牧町議）「住民投票のすすめ」

2002年

- 1月 南田昭典（奈良市助役）「中核市になる世界遺産都市」
- 2月 栗本広美（社会福祉法人白鳩会理事長）「駅前保育奮戦記」
- 3月 澤井 勝「県政の新年度予算を読む」
- 4月 中村征之「市町村合併の行方」
- 5月 松下勝臣（東大阪市経済部次長）「これからの中小企業政策」
- 6月 田畑和博（奈良情報公開をすすめる会）「情報公開制度」
- 8月 箸尾達哉（奈良商工会議所副会頭）「観光行政への提言」
- 10月 浅野詠子「これからの公共事業—河川・森林行政の一元化に向けて」
- 11月 松下勝臣「経済改革特区構想」
- 12月 川村創（NPO 法人地域創造政策センター代表幹事）「定年退職後のまちづくりへの参画」

2003 年

- 1 月 澤井勝「2003 年の自治・分権の行方」
- 2 月 中村征之「地方分権と西尾私案批判—市町村合併を考える」
- 3 月 宮崎恒子（川西町議）「ため池の開発問題」
- 5 月 上田恵美子（NPO 法人市民活動情報センター）「都市型コミュニティと観光地形成—奈良町観光を事例として」
- 6 月 堀内英樹「市町村合併最前線」
- 7 月 澤井勝「職安法改正と津山圏域雇用労働センターの経験」
- 8 月 坂本忠弘（金融監督庁保険課総括課長補佐）「三位一体改革の行方」
- 10 月 松下勝臣「韓国に経済使節団—企業誘致と販路開拓への新たな自治政策」
- 11 月 杉本英明（奈良県森林技術センター主任、林業専門技術員・副主幹）
「吉野材のすぐれた特徴について」

2004 年5 月、分権サロンの代表的存在であった中村征之氏が病没、享年 63 歳。このため会の運営は浅野が受け継いだ。

以後の記録は紛失したが、分権サロンの定例的な会号は奈良市内のレストランなどで 2008 年ごろまで続いた。

記憶にしたがい記す。

スピーチを下さったのは、自治体の不祥事を協働の視点からどう読み解くかについて直田春夫NPO政策研究所理事長、議会改革をテーマに吉井猛・天理市議長、住民参加の河川整備についてジャーナリスト松本誠さん、自治体の財政問題解説で財政研究家の初村尤而さん、自治基本条例について中川幾郎帝塚山大学教授、雨水リサイクルとこれからの総合治水について大和郡山市課長・丸谷利一さん、単独村の言い分について野崎和生・下北山村議長、ならまち町家ぐらしのすすめを建築家・三井田康記さん、県政出前講座のみなさん（会場、元林院町まんぎょく）、障害者アートの可能性とまちづくりについて川上文雄・奈良教育大学教授、西岡棟梁の遺徳を伝える会の森藤事務局長、五條市新町の街並み見学会で蔵元山本本家に立ち寄り、代表の山本陽一さんの話を聞いた。『イラク崩壊』の著者、吉岡一さん（朝日記者）もゲストスピーチした。

桜井市立図書館ホールで開催した土地開発公社問題公開討論会では奥本英子・大和高田市議、辻誠一・上牧町議、東克俊・桜井市議、角田晃一・生駒市議らが登壇、橿原市今井町の近代建築「華薨」を会場に中和広域消防組合不正採用問題シンポ（2010年10月23日 奥田寛・橿原市議、平郡大和高田市議）、奈良市 100 年会館会議室で土地開発公社問題の公開シンポ（浅野詠子、天野秀治・奈良市議、丸谷利一・大和郡山市議）なども開いた。



浅野の奈良新聞退社、独立を激励する人々が開いて下さった祝賀会＝2008年9月、
奈良市100年会館レストラン